

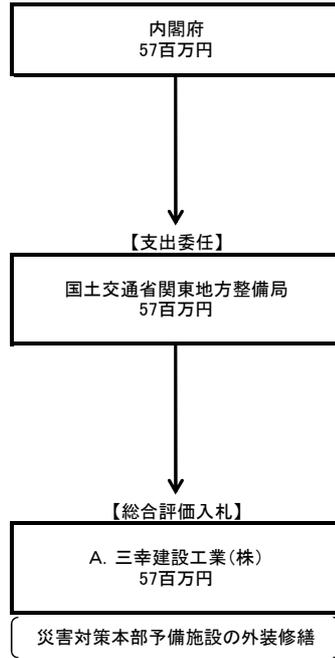
平成26年行政事業レビューシート

(内閣府)

<b>事業名</b>	災害対策本部予備施設の外装修繕に要する経費		<b>担当部局</b>	政策統括官(防災担当)	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度限り		<b>担当課室</b>	参事官(事業推進担当)	四日市 正俊			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	—				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	災害対策基本法		<b>関係する計画、通知等</b>	—				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	首都直下地震等の大規模災害で都心関係施設(官邸)が甚大な被害を受けた場合に備え、国の災害対策本部機能、内閣府(中央合同庁舎8号館)の防災専用の通信・情報処理のバックアップ機能等の役割を担う「災害対策本部予備施設(立川防災合同庁舎)」について、劣化の見られる外装の修繕を行うことにより、施設利用者の安全を確保することを目的とする。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	建物外壁全体について、タイルの浮き・欠損・クラック等の改修を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他(支出委任)							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	—	—	61	—	—	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
		計	—	—	61	—	—	
	執行額	—	—	57	—	—		
	執行率(%)	—	—	93%	—	—		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		施設劣化部分を修繕するという事業であることから、定量的な成果指標が示せないため、施設利用者の安全を確保することを目標としている。	単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	成果実績	—		—	—	—	—	
	目標値	—		—	—	—	—	
	達成度	%		—	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		事業の性質上、定量的に活動指標を定めることは困難である。したがって、施設の劣化部分を修繕することを活動指標としている。	単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	活動実績	—		—	—	—	—	
	当初見込み	—		—	—	—	—	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		—	単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	単位当たりコスト	—		—	—	—	—	
	計算式	/		—	—	—	—	
平成26・27年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	計	—	—					

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本施設は、昭和58年5月の中央防災会議決定を受けて整備され、さらに平成15年11月には官邸の予備施設としての位置づけが閣議決定された。また、災害対策資機材等の備蓄や内閣府の防災専用通信・情報処理のバックアップ等の役割を持っており、政府の災害対策上非常に重要な施設である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札(総合評価落札方式)を採用し、競争性・透明性の確保を図っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	当該修繕により、施設を適切に保全し、施設利用者の安全を確保できている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	政府の災害対策上非常に重要な本施設について、劣化の見られる外装の修繕を行うことにより、施設を適切に保全し、施設利用者の安全を確保できている。予算の執行においては、一般競争入札(総合評価落札方式)を採用し、競争性・透明性の確保を図っている。				
	改善の方向性	本事業は25年度限りの事業であり、改善の必要はない。				
外部有識者の所見						
建物の外壁のタイルの補修という何の変哲もない工事が「1者応札」に終わったのはなぜなのか。「事業の効率性」欄に、「競争性・透明性を図った」と書かれているが、競争入札の形式を踏んだことを以て足れりとする姿勢は大いに問題である。また、「改善の方向」欄に、単年度事業なので「改善の必要はない」とあるが、1者応札となった原因をさぐり、今後の事業の改善に役立てる必要が大いにあると思われる。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は平成25年度限りだが、1者応札となった原因をさぐり、今後の類似の事業の改善に役立てること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、今後の類似の事業の改善に役立てたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	—	平成24年	新25-0001	平成25年	新25-0010	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.三幸建設工業(株) (国土交通省関東地方整備局へ支出委任)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	災害対策本部予備施設の外裝修繕	57			
計		57	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三幸建設工業(株)	災害対策本部予備施設の外装修繕(国土交通省関東地方整備局へ支出委任)	57	1	89%